

## 第 1 回 公安委員会定例会開催状況

### 1 開催日時

令和8年1月15日（木）13時10分～16時45分

### 2 決裁事項

- (1) 免許の取消し等  
警察本部から、免許の取消し等について報告を受け、決裁した。
- (2) 警察署協議会委員の解嘱・委嘱  
警察本部から、警察署協議会委員の解嘱・委嘱について報告を受け、決裁した。
- (3) 苦情の受理  
警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。
- (4) 審査請求の裁決  
警察本部から、審査請求の裁決について報告を受け、決裁した。
- (5) 苦情の調査結果  
警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。
- (6) 岡山県警察関係手数料徴収条例の一部改正  
警察本部から、岡山県警察関係手数料徴収条例の一部改正について報告を受け、決裁した。
- (7) 警察職員の援助要求  
警察本部から、警察職員の援助要求について報告を受け、決裁した。

### 3 報告事項

- (1) 令和8年度当初予算要求概要  
警察本部から、
  - 令和8年度の警察費要求総額は約558億円と、前年度比約40億円の増額となる。増額の主な要因は、給与改定等に伴う職員給与費の増額及び水島警察署庁舎建替整備事業の増額に伴うものである。
  - 分類別では、義務的経費のうち人件費の要求額が約423億円と、前年度比約22億円の増額となる。昨年行われた給与改定に伴う給料や期末勤勉手当等の職員給与費の増額を見込んでいることが主な要因となる。
  - 次に、一般行政経費のうち運営費の要求額は約94億円と、前年度比約2億8,000万円

- の増額となる。物価高騰や賃上げに対応するための経費を計上したことが主な要因となる。
- 次に、一般行政経費のうち事業費の要求額は約23億円と、前年度比約6,000万円の減額となる。物価高騰や賃上げ対応、新規重点事業に要する経費を計上した一方で、交通安全施設費が減額となったことが主な要因となる。
  - 次に、投資的経費は、水島警察署庁舎建替整備事業において、本館棟を建設する第2期工事が本格化していくため、当該事業に要する経費として、約17億9,000万円を計上したものである。
  - 今後の予定については、1月23日（金）と2月4日（水）の常任委員会、2月5日（木）の予算総括協議会で質疑を受けた後、2月13日（金）の常任委員会で予算額（案）として発表する予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「維持管理費用は、新しいものに対する費用と比較して予算取りが難しい面もあると思うが、現場の状況等を踏まえ、的確な対処ができるよう予算を確保していただきたい。」

旨を発言した。

## (2) 令和7年度自転車鍵かけコンテストの開催結果

警察本部から、

- 少年に対し「自転車盗の被害者にも加害者にもならない」という防犯・規範意識を醸成し、健全育成を図ることを目的として、参加校の生徒や教職員が一体となり、校内駐輪場での自転車の鍵掛けに取り組んだもので、施錠率調査の結果を踏まえ、成績優秀校等を表彰するものであり、今年度は過去最高となる223校が参加した。
- グループ編成は、中学校及び義務教育学校を自転車登録台数により2グループ、高等学校、中等教育学校等を1グループとし、第1部から第3部を編成した。
- 調査方法は、令和7年9月から11月までの間、警察職員や少年警察協助力員が毎月1回（合計3回）参加校に赴き、自転車の施錠台数等を確認した。
- 受賞校は、知事表彰26校、生活安全部長表彰2校、県少年警察協助力員会連合会長表彰3校であり、2月9日（月）、警察本部において表彰式を開催する予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「自転車盗は初発型の犯罪の典型例であるため、鍵かけコンテストにより自転車盗が減少することで、犯罪全体の減少につながればよいと思う。

犯罪の被害者を放置することが犯罪の温床につながるということを考えられる良い企画だと思う。」

旨を発言した。

## (3) 交番等における手話リンクの運用開始

警察本部から、

- 一般財団法人日本財団電話リレーサービスでは、令和7年4月から法人向けサービスとして「手話リンク」の提供を開始したところ、このたび、当県警察においても交

番、駐在所及び警備派出所に聴覚障害者等が来訪した際の対応に資するものとしてその導入を図ることとした。

- 現在、聴覚障害者等が勤務員不在の交番等に来訪した場合、聴覚障害者等は交番等に設置された電話機を使用して警察署に連絡することができなかったところ、聴覚障害者等が不在交番等を訪れた際でも、警察署と連絡が取れるよう手話リンクを整備し、運用を開始する。
- 手話リンクは、聴覚障害者等とそれ以外の者との会話を、手話通訳オペレータが「手話」と「音声」を通訳することにより、電話で即時双方向につながることができるサービスであり、運用開始日は1月16日（金）、整備施設は全交番、駐在所及び警備派出所となる。
- 利用料金について、通話料は警察負担、スマートフォンのデータ通信料は発信者負担となる。

旨の報告を受けた。

委員が、

「交番の機能として手話リンクの運用を開始したことを発信し、障害者に対する取組も行っているということ伝えることで、県民の安心感を高めていただきたい。

誰もが安全・安心に生きる権利を持っており、正にそれが具現化された良い取組だと思う。」

旨を発言した。

#### (4) 令和7年中の交通事故発生状況（暫定値）

警察本部から、

- 暫定値であるが、令和7年中の総事故件数は5万1,446件と、前年比1,164件増加、そのうち人身事故は4,681件と、前年比188件減少した。
- 交通事故による死者数は41人と、統計を開始した昭和23年以降過去最少となった。
- 令和7年中の交通事故の特徴として、死亡事故は、
  - ・ 車両単独等一方的過失の事故が約5割
  - ・ 四輪乗車中の死者17人のうち、9人がシートベルト非着用
  - ・ 人対車両の事故10件のうち、9件が夜間に発生で、全員が夜光反射材等非着用であり、人身交通事故は、
  - ・ 朝夕の通勤・通学時間帯の発生が全体の約4割
  - ・ 追突及び出合頭が全体の約6割
  - ・ 自転車関係事故は全体の約2割であり、年齢層別では中・高校生が約3割であった。
- 今後の取組として、死亡事故抑止対策は、
  - ・ 交通事故発生状況を踏まえた交通指導取締り等の推進
  - ・ 後部座席も含めた全席シートベルト等着用の徹底
  - ・ 夜光反射材等着用に向けた広報啓発を、自転車が関係する事故の抑止対策は、
  - ・ 新規に作成した年代別の自転車交通安全教材等を活用した交通安全教育の推進

・ 交通ルール遵守に向けた街頭指導等の強化  
を推進していく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「運転者側からの視認性が格段に向上するため、歩行者がLED反射材を着用するよう徹底的に取り組み、歩行者の死亡事故をなくしていただきたい。

これまでの交通事故防止対策の積み重ねが、死亡事故の減少につながったと思う。今後も継続できるよう努めていただきたい。」

旨を発言した。

- (5) 令和8年度における組織・定員改正（案）の概要  
警察本部から、令和8年度における組織・定員改正（案）の概要について報告を受けた。
- (6) 警察官採用試験実施状況等  
警察本部から、警察官採用試験実施状況等について報告を受けた。
- (7) 非違行為  
警察本部から、非違行為について報告を受けた。
- (8) 監査委員監査の結果  
警察本部から、監査委員監査の結果について報告を受けた。
- (9) 令和7年12月中の公安条例許可状況  
警察本部から、令和7年12月中の公安条例許可状況について報告を受けた。
- (10) 警察学校初任科卒業式の挙行  
警察本部から、警察学校初任科卒業式の挙行について報告を受けた。

#### 4 次回公安委員会

令和8年1月22日（木）13時30分から開催予定